



にほんばし 人形町

2026年 春号 無料
Vol.165 ToHo Free



8日 (日) 2月 第3代目「人形町歌うま王」決定！ 人形町歌うま選手権 vol.03を開催しました！

『老若男女が楽しみ、交流できること』をコンセプトに2024年よりスタートした「人形町歌うま選手権」も今回で第3回目を迎えることができました。前回出場者であり、今回は実行委員長として参加された都筑さんの開会宣言で幕を開け、「第2代目人形町歌うま王」西田さんによるオープニングアクト『ダイナミック琉球』で盛り上がる中、予選を勝ち抜いた20名が、それぞれの熱い想いを込めた素晴らしい歌声を披露し、会場は温かな拍手に包まれました。優勝は、清水翔太さんの『化粧』に込められた切ない気持ちを感情豊かに歌い上げた株式会社 RYOHTAN の RYUYA さん。

第2位は Candle Bar Kony の佐伯洋哉さん、第3位は人形町在勤の安見茜音さんが受賞されました。大木トオル賞は有限会社ゆたか印刷所の小林喜代子さんが選ばれました。受賞式には大木トオルさんも壇上に登場し会場は大きな拍手に包まれました。最後は出演者と来場者全員で『世界にひとつだけの花』を合唱し、世代を超えた交流の輪が広がる中、盛況のうちに閉幕しました。



優勝 RYUYA さん 3位 安見さん



大木トオル賞 小林さん

季刊誌特典
人形町商店街協同組合加盟店
屋号ステッカー
プレゼント
(先着50名)



4日 (土) 4月 みんなで出かけよう！ 人形町大観音寺 「花まつり」

11:00~15:00 人形町通り 大観音前

春の訪れを感じる人形町で毎年恒例の「花まつり」が開催されます！まず、大観音寺で参拝し、運試しに豪華クジに挑戦してみませんか？人形町の銘品が当たるチャンスです。

特設テントでは甘茶と生菓子の嬉しいおもてなしをご用意。参加は無料です。



25日 (土) 日本酒ブースを巡って利き酒 日本橋エリア 日本酒利き歩き 2026

14:00~18:00 日本橋界隈

日本橋エリアに全国から約50の実力日本酒造が集結する「日本酒利き歩き」が今年も開催されます。各所に設置されている日本酒ブースを巡って、利き酒をお楽しみください。詳細は <https://blog.sasas.jp/> をご覧ください。



記事取材協力店 MAP 6 寿司とちの木



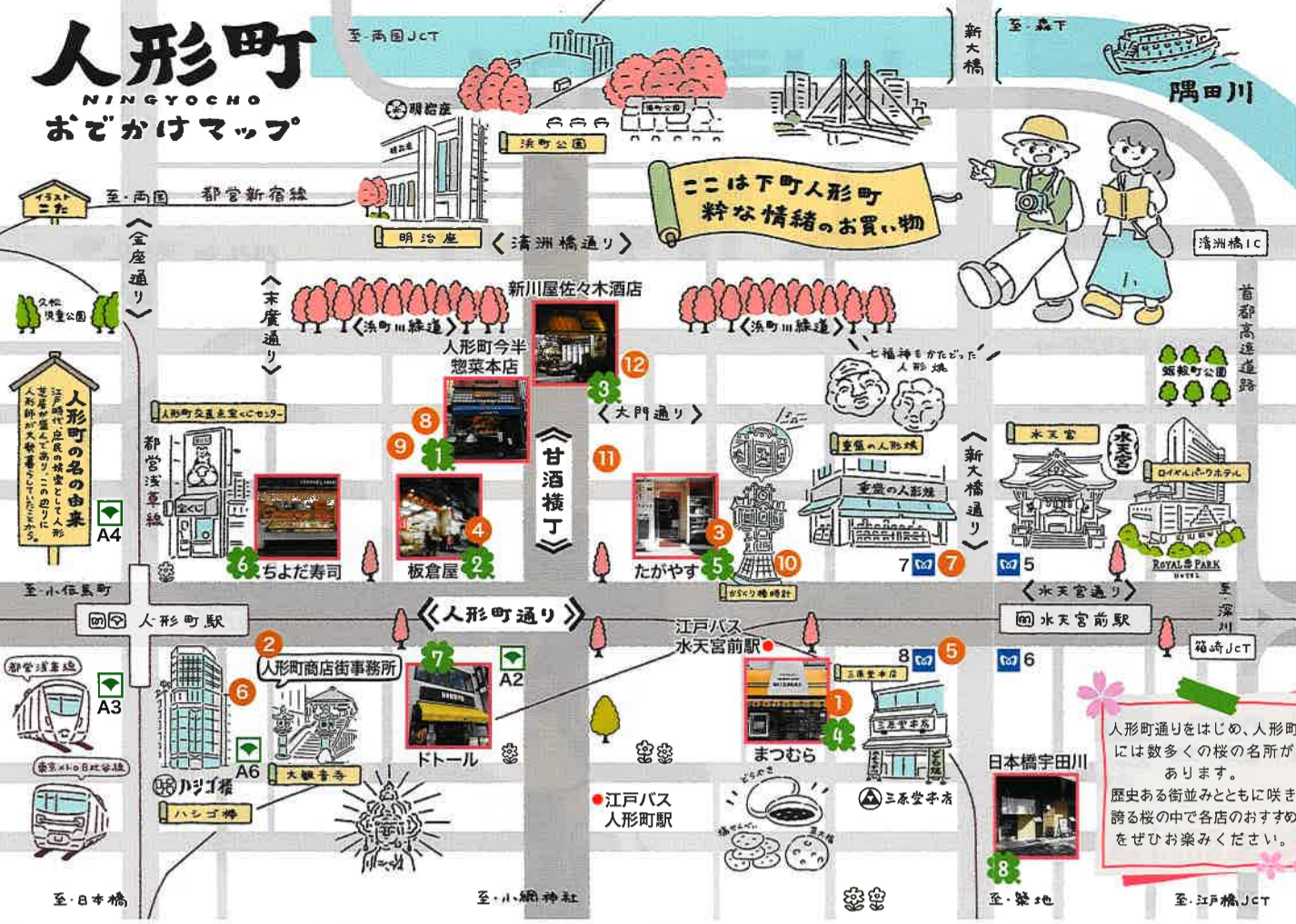
今年二十周年を迎える寿司店。新鮮な魚、厳選した日本酒や焼酎をご用意し、刺酒師の店主と野菜ソムリエの女将が、皆様のご来店をお待ちしております。

〒104-0046 中央区日本橋人形町 1-18-5
☎ 5643-1144

人形町

NINGYOCHO

おでかけマップ



おすすめお外ごはん

春の景色に包まれて、お外ごはんしませんか？
各店のおすすめテイクアウトをご紹介します。

2 人形焼本舗板倉屋

手焼き人形焼専門店の人形焼本舗板倉屋です。

3 人形町今半 惣菜本店

明治28年創業、黒毛和牛を贅沢に使用した惣菜と弁当の専門店です。

7 七福神の人形焼

生地から餡子まで全て手作りで職人が一個ずつ手焼きで製造しております。ふわふわの生地にしっとりした餡子で幸せな気分になる「七福神の人形焼」です。

8 日本橋宇田川

人形町通りをはじめ、人形町には数多くの桜の名所があります。歴史ある街並みとともに咲き誇る桜の中で各店のおすすめをぜひお楽しみください。

8 日本橋 宇田川

昭和42年創業のとんかつとお肉のお店

特製カツサンド

7 ドトールコーヒーショップ 人形町1丁目店

2002年よりこの人形町にお店をオープンいたしまして23年になるコーヒーチェーンです。

コーヒーとミラノサンド

6 ちよだ鮨 人形町店

持ち帰りすし専門店。「鮮度」にこだわり、お寿司はすべて毎日「店内製造」。お祝い事や集まりの席のご予約も承ります。

ちよだ折 すみれ

5 たがやす

フランスで研鑽を積んだ中根一シェフの本格洋菓子店。

ケーキ全種類

4 サンドウィッチパーラー まつむら

1921年創業、手作りのお店です。イートインスペースもあります。

まつむらミックス

3 新川 佐々木酒店

日本酒・ワイン・焼酎・ビール。おつまみや調味料まで幅広く取り揃える酒屋です。業務用、小売り宅配、オフィス配、全国発送も承ります。

多賀治純米大吟醸 生原酒朝日

一番人気の国産上ヒレ肉を使用した特製カツサンド。ボリュームはもちろん、パンやキャベツに染み込んだ手作りソースもお楽しみください。

お客様に「一杯のコーヒーを通じて安らぎと活力をお届けする。」この、店舗理念を胸にスタッフ一同心よりご来店をお待ちしております。

迷ったらこれ！まぐろ、サーモン、えびなど人気ネタが入ったちよだ鮨の定番合せ。当店おすすめナンバーワン商品です。

新企画「たがやす七福@223」フィナンシェが登場！人気のシュークリームや苺ショート、デコレーションケーキも一押し。全商品が自信のおすすめです。

「まつむら」おすすめの具材が6種類そろってます。お弁当にもおやつにもおすすめです。

上立ち香はほんのりと香りがあり、口を含むとブドウ様の香りがふくらみ、その後ガス感と共にジューシーな旨味を感じながらキレてゆきます。ワイン好きの方にもお試しいただきたい一本です。

人形町商店街ご当地キャラクター 下町KING 人之助をご紹介します

みんな知ってる？
日本橋人形町商店街の公式キャラクター「下町KING 人之助（にんのすけ）」。
生みの親は人形町出身のアーティスト 森本サンゴさん！
2011年に登場し、白い折り紙風のカブトをかぶり、黒と白の身体に唐草模様の風呂敷を巻いた犬のキャラクター。ピンクの肉球にタッチすると「子宝・恋愛運」、黄色の肉球は「金運」のご利益があるとか、ないとか。神出鬼没な「下町KING 人之助」以後、お見知りおきを！

作者Profile: 森本サンゴ (写真:右)
人形町出身。先祖は江戸時代から人形町にいたらしい。大学卒業後イラストレーターになり、途中から漫画家デビュー。2019年からアートの世界に迷い込み現在に至る。人形町が舞台のマンガ「人形町酒肴譚おしどりちどり」(ビジネスジャンプ/集英社)、「けけ物絵師 ジュゲム」(乱/リイド社)、「囃家の女房」(週刊漫画サンデー/実業之日本社)などの作品がある。



人之助(にんのすけ)

人形町をこよなく愛すわんぱく小僧。人之助の肉球をさわるとご利益があるらしい。

ニンピーちゃん

人之助のガールフレンド。運動神経抜群で、人之助は何をやっても敵わない。いつも笑顔の人気者。

三太夫

1955年製のオモチャ。初めは車輪で移動していたが、最近、念願の脚を手に入れた。人形町の生き字引。

パペット・ブラザーズ

だれにも操れないあやつり人形の双子の兄弟。姉は針仕事の名人。

との

人形町のトノサマガエル。冬眠するので暖かい時しか登場しない。立派なヒゲは付けヒゲ。

人形町のイベントでは人之助のグッズも販売中。

密かなブーム！激レア！屋号ステッカー入手方法

季刊誌でしか手に入らない、激レア老舗屋号ステッカー！新たに4種類が仲間入りしました。入手方法は、ぜひ下記をご覧ください。

- サンドウィッチパーラーまつむら
- 下町KING 人之助
- たがやす
- 人形焼本舗板倉屋
- 三原堂本店
- 寿司とちの木
- 重盛永信堂
- BALLADE
- 藤倉治療院
- わしや
- 柳屋
- BAR 暖炉

みんな集めてね！

①配布店舗をチェック

毎号、4種類づつ季刊誌でしか手に入らない人形町商店街協同組合加盟店の屋号ステッカーを先着でプレゼントしています。

②店舗の場所を確認

季刊誌を開き、今回の屋号ステッカー配布店舗をチェック！

③お店を発見！入手！

「屋号ステッカーください！」とお店の人に声をかけてね。

④店舗の場所を確認

季刊誌を使い、人形町で店舗を探索！「看板」や「屋号ステッカー配布店」の張り紙を目印にしてね。

よいどれ日記

担当者は...
しげる
そらた

『壽司とちの木』に、今回もそらたとしげるが来店。『鯉のなめろうと白子ボン酢』をめでてビールを飲みながら、そらたが話をはじめ。

「しげる、人形町で桜を見るならどこがいい？」
「いちばんは、うちの店の向かい、『大黒屋』前の桜だ。あのゴツゴツした黒い幹と、派手に広げた枝振りのコントラスト。桜の根元に埋まった歴史の重みが、ずしんと来るんだよ」
「確かに悪くない。でもお前は情緒ってやつが欠落してるとだよ。人形町の夜桜って言ったら『北海道』の店先。これの一点張りだな」
そらたは、ビールを飲み干しながら続けて、さも重大な機密を明かすような顔で言った。
「街灯の光を吸い込んで、花びらがぼつと浮き上がる。あの世の入り口みたいで最高なんだ」「なんだそれ」
しげるは刺身のツマを噛みながら、鼻で笑った。そこへ「ちの木」の主人が艶やかで照りがある美味しそうな『にぎり寿司』を差し出した。
「一人とも盛り上がってるねえ。俺はさ、文教堂あたりから水天宮へ抜ける。あの桜並木に圧倒されちゃうけどなあ」
という、主人のからっとした笑い声に、二人のこだわりがふわりと解かされた。



「で、しげる、お前は桜のどこが好きなんだ？」
そらたが不意に、核心を突く問いを投げる。
しげるは箸を置き、少しだけ遠い目をする。
「桜ってさ、毎年同じ時期に咲いて、散るだろ。なんか『心の葉』なんだよな。入学と卒業。あの出会い、あの別れ...人生のページをめくると、いつもそこには桜が挟まっていて...」
「はいはい、始まった...」
そらたは、呆れ顔でにぎり寿司を口に入れた。その咀嚼音で、しげるのポエジーをかき消そうとする。
「待てよ、一人で愛てるのもいいな。ドトルールの二階からコーヒー片手にぼーっと眺めたり...でもな、日本橋小学校の前の桜も絵になるんだよなあ。緑道公園も捨てがたい。」
と独白を続けるしげると、もくもくとにぎり寿司を頬張るそらた。
人形町の夜は、酒の酔いと緒にゆくりと更けていく。
さて皆さんの「心の葉」は今、どこに挟まっていますか？
人形町を歩いて、あなただけのお気に入りの一本を見つけてみてください。

第3回 女将のおすすぬ 壽司とちの木

文：榎木雅子

二十二年前人形町にお店を出したくて、出したくて、探し続ける事二年、念願叶い二〇〇六年八月 壽司とちの木を開業致しました。



特上にぎり1.5人前



二階席

開業当初売り上げは伸び悩みましたが、人形町に居続けたい思いで工夫して参りました。ご来店頂いたお客様に「人形町は美味しいのはあたりまえ」とのお言葉を頂戴し、一途にとちの木の強みを考えました。

数年後、二階が空いたのを機に思いきって借りる事を決断し、多人数の宴会が出来るようになり少しずつ風向きが変わったように思います。人形町ならではの落語会の開催もこの頃から始めました。壽司・日本酒・落語の融合と銘打って、今とときめく立川晴の輔師匠と米鶴酒造さんを招いての贅沢な会でした。(コロナ渦から終了)
他にも、人形町を舞台にしたドラマ新参者を始めたしたTVや映画の口役弁当、学校等の食育活動、酒蔵見学、農家畑での収穫祭、被災地への壽司炊き出しなど様々な経験が私共を成長させてくれました。

私共夫婦で始めた壽司とちの木は、スタッフの仲が良くBBQやランニング、お神輿とプライベートも共有する事が多く、その雰囲気がお店の中に流れていると思います。

職人歴三十八年の店主が守る味は、毎日豊洲市場に行き目利きした新鮮な魚と、四季により変える絶妙な水加減で炊くシャリ、お酢は3種類を駆使しています。

店主の和泉屋勤十郎は四代目市川團十郎の父であり、歌舞伎の世界にも名を馳せる実力者。芝居が跳ねたら役者を自分の店に呼び、客に引き合わせることもできたようです。このような大茶屋を利用できるのは、大店の主人や大石高藩の有力者、親元から過分に仕送りを与えられた藩士の子息のほか、当時の文化人たちです。篤重と縁もある、大田南畝、短歌に和歌、画才にも長けた加藤千蔭、姫路藩、酒井雅楽頭の実弟で絵師の酒井抱一は特に馴染みの客であり、平八にとって、知識教養に研鑽を重ねるに好都合でした。こうした文化人たちとの人脈形成、調度品の目利きに磨きをかけ、平八が

篤重時代、人形町を闊歩した面々

天明3年(1783)吉原から通油町(現、日本橋大伝馬町)へ耕書堂店主、篤重三郎が進出したこの頃の人形町界隈は現在の世に名を残す人物が躍動していた時代でもありました。今回は都立名勝庭園として今も憩いの場を残した男の立志伝中物語です。



奥州の出で名を平八。彼は、篤重と同じ時代に、現在の人形町3丁目にあった芝居町と呼ばれたこの地で奉公を始めました。芝居茶屋は大小様々ありますが、平八の奉公先は、芝居小屋に隣接し、宿泊もでき、高価な調度品を備え、厨房を持った、大茶屋でした。中村座に隣接し、とりわけ立派で店主は和泉屋勤十郎と言いました。



10年ほど勤めた寛政8年(1796)頃、いよいよ独立し、近所の住吉町(人形町2丁目)に骨董屋を開業します。この時、名を北野屋平兵衛と改称し、世間の人からは「北平」と呼ばれた骨董屋以降の活躍は、また次の機会に...

スタンダードな上ににぎりは2460円。初めていらっしゃるお客様は、先ずは上にぎりから召し上がる事をお薦め致します。絶品の鮪や安定仕込みの穴子をお楽しみ下さい。又、年末に作るお節もリピートの方が多くご好評を頂いております。

歴史と伝統の味を守る店が立ち並ぶ人形町で壽司とちの木は今年二十周年を迎えます。これは一重にお客様、商店街や町会の街の皆様、歴代のスタッフと大家さん、友人や家族のおかげです。感謝しかありません。昨年に初めてワンちゃん同伴OKの会を開催致しました。(二階席のみ)名犬子ロリのお隣元人形町、愛犬家である私共の新たな試みです。年に数回開催し、人にも犬にも優しいお店を目指して参ります。又親子味噌作りなども企画して参ります。そして、蔵元や生産者の思いを伝える一助を担って行くのも私共の役目です。



店主 榎木 義和さん
なスタッフと共に働き続けるという強い気持ちです。スタッフ一同ご来店心よりお待ちしております。